

国立民族学博物館 国際シンポジウム

ユニバーサル・ ミュージアムを考える

～ “つくる” 努力と “ひらく” 情熱を求めて～


日時 2006年 9月 23日 土・24日 日

会場 国立民族学博物館・第4セミナー室

定員 70名 (先着順) 参加無料

申し込み方法 「ユニバーサル・ミュージアムを考える参加希望」と明記の上、以下事項を添えてメール又はFAXでお申し込み下さい。2名様以上でお申し込みの場合は、各自記入事項を明記して下さい。9月中旬にはメール又はFAXにて参加していただけるかお知らせいたします。※応募者が多数の場合はご参加いただけない場合もあります。
【記入事項】 ①氏名 ②連絡先電話番号 ③メールアドレス又はFAX番号 ④所属(任意) ⑤参加希望日
【宛 先】 E-mail : kokkyo@idc.minpaku.ac.jp FAX : 06-6878-8479



 国立民族学博物館

主催：国立民族学博物館 後援：財団法人 日本博物館協会、全日本博物館学会、日本ミュージアム・マネージメント学会

お問い合わせ

国立民族学博物館 民族文化研究部 (広瀬) 〒565-8511大阪府吹田市千里万博公園10-1 電話06-6878-8437
<http://www.minpaku.ac.jp> E-mail:hirose@idc.minpaku.ac.jp

「ユニバーサル・ミュージアムを考える」

～ “つくる” 努力と “ひらく” 情熱を求めて～

博物館とは、さまざまな意味での共生を实践するフィールドである。本シンポジウムでは、ユニバーサル・ミュージアム（だれもが楽しめる博物館）のあり方を多角的にとらえ、今後の新たな博物館を “つくる” 努力、 “ひらく” 情熱を民博から発信したい。

1日目は「ユニバーサル＝障害者が来館しやすい環境作り」と定義し、「だれも」の具体的内容に迫る。2日目は「ユニバーサル＝五感の潜在力を開拓すること」と定義し、博物館が提供するプログラムなど、ソフト面の情報交換を行なう。

第1日 9月23日 土	
キーワード	つくる
10:00～12:00	民博の常設展、特別展の観覧（自由参加）
12:00～13:30	休憩・昼食
13:30～13:45	シンポジウムの趣旨説明 ◆広瀬浩二郎
13:45～15:15	基調講演 「米国におけるユニバーサル・ミュージアムの現状と課題」 ◆レベッカ・マックギニス
15:30～17:30	各地からの事例報告、意見交換 ◆コーディネーター：奥野花代子 パネリスト ◆ミケール・ハドソン 「フリーズ・タッチ～アメリカン・プリンティング・ハウス・キャラハン・ミュージアムの取組みについて～」 ◆三谷雅純 「博物館テキスト『子ども自然教室』のユニバーサル化の課題」 ◆山本哲也 「バリアフリーであること、バリアフリーを伝えること～ユニバーサルな社会を目指す博物館の試み～」 ◆米田耕司 「ユニバーサルな社会における美術館のあり方」
18:00～19:30	レセプション（民博レストラン）

第2日 9月24日 日	
キーワード	ひらく
10:00～12:00	研究発表＋見学会 「企画展『さわる文字、さわる世界』の趣旨をめぐって」 ◆広瀬浩二郎
12:00～13:00	休憩・昼食
13:00～14:30	基調講演 「文化人類学とユニバーサル・ミュージアム」 ◆和崎春日
14:45～16:45	各地からの事例報告、意見交換 ◆コーディネーター：平井京之介 パネリスト ◆染川香澄 「博物館でハンズ・オン～経験、知識、思いがつながる～」 ◆大野照文 「博物館で学びが起こるとき～起爆剤としての体験学習プログラム～」 ◆松川博一 「五感で楽しむ歴史展示への試み～九州国立博物館の展示から～」 ◆森栗茂一 「におう、味わう、語りかけ、ふれあう。まちと博物館内外が融通する～人と防災未来センターとNPOとの協働から～」
16:45～17:30	総合討論 ◆総括：横山廣子

【シンポジウム参加者】

大野 照文	京都大学総合博物館・教授	米田 耕司	千葉県立美術館・前館長
奥野花代子	神奈川県立生命の星・地球博物館・専門学芸員	和崎 春日	名古屋大学大学院文学研究科・教授
染川 香澄	ハンズ・オン プランニング代表	ミケール・ハドソン (米国)	「アメリカン・プリンティング・ハウス・キャラハン・ミュージアム」ディレクター
松川 博一	九州国立博物館・研究員	レベッカ・マックギニス (米国)	メトロポリタン美術館 アクセス・コーディネーター
三谷 雅純	兵庫県立人と自然の博物館・主任研究員	平井京之介	国立民族学博物館・助教授
森栗 茂一	大阪外国語大学・教授	広瀬浩二郎	国立民族学博物館・助手
山本 哲也	新潟県立歴史博物館・主任研究員	横山 廣子	国立民族学博物館・助教授

交通案内

※国立民族学博物館（みんぱく）は、大阪・千里の万博公園内にあります。

- 大阪モノレール・・・ ●「万博記念公園駅」または「公園東口駅」で下車、徒歩約15分（自然文化園を通過する際、250円の入園料が別途必要となります。ただし、みんぱくの観覧券をゲートにてお買い求めになれば無料で通行できます。）
- バス・・・ ●近鉄バス（阪大本部前行など）
●阪急茨木市駅から約20分、JR茨木駅から約10分「日本庭園前」下車、徒歩約15分
●阪急バス（エキスポランド経由千里中央行）
●阪急茨木市駅から約20分、JR茨木駅から約10分「自然文化園・日本庭園中央」下車、徒歩約5分
- タクシー・・・ ●万博記念公園「日本庭園前駐車場」まで乗り入れることができます。下車、徒歩約5分
- 自動車・・・ ●駐車施設が無い「みんぱく」への車の乗り入れはできません。万博記念公園の駐車場（有料）をご利用ください。最寄り「日本庭園前駐車場」から徒歩約5分

